



宇都宮市議会議員

福田ちえの市政だより

発行: 福田ちえ後援会 事務所: 宇都宮市六道町 12-38 電話: 028-636-2582 FAX: 028-636-2559

<http://www.f-chie.jp/>✉ info@f-chie.jp

facebook 福田ちえ

twitter @fukudachie

討議資料

2016 新しい年を迎えて



去年は私にとって、公職を離れ多くの経験からの復活という、大きな転換の年となりました。高齢者施設に務め、働く仲間とともに、利用者様の生活の質の向上と豊かな人生を願い、取り組んだ日々、在宅介護・在宅医療の現状と課題に向き合った経験は、大きな糧となっています。

これまでの日本は、介護や保育、家事といったケア労働の多くは女性が担うとして制度設計がなされてきましたが、少子化、核家族化、女性の社会進出、共働き世帯の増加等、これまでの制度は限界にきています。女性の社会進出を推進するのであれば、女性がこれまで多くを担ってきた家事や育児・介護といったケア労働を、どうしていくのか真剣に考え、構造を大胆に変える必要があると考えます。男性のキャリアのように働く女性が女性の活躍モデルではなく、女性も男性も当たり前になられたことに感謝できる社会を望みます。

さて、日本は経済優先の消費社会を歩んできました。今、急速に進む人口減少・少子高齢化社会にあり、暮らしは大家族から核家族へと住まい方が移り、家族や地域のつながりが希薄になった現代は、「地域に住もう」という住まい方の再構築が求められているのではないのでしょうか。政治は生活の礎です。私は、これまでの経験を活かし、行政課題の解決に向けて、安心して住み続けられる地域社会の再構築、未来の社会保障としての子育て支援、貧困の連鎖を断ち切るための教育支援、仕事と生活の調和など、生活の質の向上に尽力してまいります。

12月議会で質問いたしました（7項目の質問抜粋）

1 まちづくりの装置となるLRTについて

問 LRT導入だけではまちは変わらない。まちの価値を高め、生活の質の向上を実感するために、LRTをどのように活用していくのか。

答 少子化・超高齢化、人口減少が進行する中であっても、発展出来るまちであるためには、社会的に質の高い生活ができる都市づくり、環境に優しい都市づくり、地域産業・経済の持続的な発展が求められている。地域が歩んできた歴史・文化・コミュニティなどを後世に引き継ぎ、地域が持つ強みや個性が発揮できるよう地域拠点、都市拠点を形成していく。

問 駅西側の具体的な計画が出されていないが、計画策定・着工の時期は。駅西側に着手した場合、市債償還（借金返済）は本市の財政で賄えるのか。

答 早急に事業を推進する必要があると考える。今後、西側沿線の教育施設や大規模事業所への利用意向調査を考えており、生活行動実態調査の結果を踏まえ、鉄道やバスとの連携や自動車交通のあり方など検討していく。市債償還が将来の大きな負担とならないよう十分に留意する。



重点政策

- 在宅介護の仕組みの充実
- 子育て子育て環境の整備と充実
- 福祉都市宣言を生かした市政運営
- 仕事と生活の調和と雇用環境の整備

【議会での所属】

市民連合会派（政調担当）
議会運営委員会委員
文教消防水道常任委員会
健康長寿調査特別委員会委員長
市街地開発組合議会議員
環境審議会委員

12/4 本会議で質問（一問一答方式）



※フランスの公共交通

1982 年交通基本法により、交通権が認められ、移動を確保するための公共交通が求められるようになった。1996 年大気法策定、都市において環境負荷の高い自動車利用を削減し、徒歩・自転車・公共交通を強化するという条文が盛り込まれた。徹底して利便性が追求されている。ストラスブールでは、住民の 94% がバスか LRT の停留所から 400m 以内に居住し、職住接近。

2 地域産業・経済の持続的な発展について

問本市に進出を希望する企業からの問い合わせが増えている中、市が斡旋できる工業団地は清原工業団地内の残地、約6haのうち一部のみである。地域産業の発展および経済の持続的な発展における企業誘致の考え方は。

答企業誘致と市内企業の定着促進は本市の重要施策の一つである。本市において公共、民間保有を合わせ20ha存在することから、まずは既存工業団地の未利用地の活用に優先的に取り組む。

3 地域包括ケアシステムと地域づくりについて

問地域包括ケアシステムの構築、介護予防の地域支援事業への移行(市町村事業化)が打ち出されている。「地域包括ケアシステム」の構築は、過去の介護問題を踏まえ、高齢者の生活の質の向上 QOL はもとより、制度の持続ではなく、「暮らしの持続」を優先に構築することが重要であり、それぞれの地域で暮らす高齢者が、どのような生活課題を抱えているかを起点にする必要がある。地域のニーズをどのように把握し、事業に反映しようとしているのか。また、地域づくりのための情報提供および推進を、どのように行っていくのか。

答平成29年4月からの「総合事業」の実施に向けた検討の中で、どのようなサービスを、どのような体制で提供していくかなどについて、地域の代表である「自治会」や、利用者の代表である「介護者の会」等の関係機関や団体により構成される「社会福祉審議会」などから意見を伺い検討していく。

また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ボランティアや民間企業、地域の様々な関係機関や団体などが連携した「支えあい体制づくり」に取り組むとともに、地域包括支援センターにも情報提供しながら、2025年の地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいく。

4 成年後見制度について

問成年後見制度の基本理念は、自己決定権の尊重と残存能力の活用、ノーマライゼーションである。市長申立に関しての制度周知と啓発の取り組み状況は。

答親族がいない方が成年後見制度を利用できるよう、地域包括支援センターや障がい者支援施設の職員、民生委員などを対象に、研修を通じて周知啓発に取り組んでいる。「成年後見審判等市長申立審査会」において審判請求の可否や、後見・保佐・補助などの類型について審査を行い、家庭裁判所へ市長による申立てを行っている。

5 訪問型病児保育について

問仕事と育児の両立をめざす共働きの親にとって、子どもの突然の発熱は、その日、保育園に預けられず、急に仕事を休めない、当事者にとっては大きな問題です。救世主の「病児保育事業」ですが、補助額が非常に少額で、病児保育施設の数も中々増えません。東京、大阪には、民間団体が運営する自宅訪問型病児保育があり、当日依頼100%対応、急な発熱時に保育園へ迎えに行くことや病院の代理受診も可能で、自宅に訪問して親が帰宅するまで保育する。宇都宮市のファミリーサポートセンター機能を充実させることで、訪問型の病児保育が実施できるのではないかと考えている。また、市の事業化の可能性は。(※参考)

答病児の預かりは通常の預かりと異なり、預かり時の子どもの急変への迅速な対応が不可欠であり、そのためには、緊急時に適切な対応ができる看護師核を持つなどの協力会員の確保の他、病児を預かる協力会員の感染症のリスクや、特に月齢の低い病児を預かることへの不安感や負担感への対応など、様々な課題があることから、現時点ではファミリーサポートセンター事業における実施は難しいものと考えている。訪問型の病児保育事業を実施するに当たっては、保育と看護の専門性に加え、かかりつけ医や医療機関との連携や、子どもの急変時の対応など、施設で実施する場合とは異なる課題があることから、本市の計画に基づき病児保育事業の必要な供給体制の整備を進める。

【 活動のひとこま 】

■西原小学校ナイター設備移転に伴い、校庭の防犯灯の新設を要望



11/22 滝尾神社 秋の大祭



12/6 花房町の餅つき大会

※ファミリーサポートセンターとは？

子育ての援助をしたい人と、子育ての援助を受けたい人がお互いに会員になって助け合い、子どもたちの健やかな育ちを地域で援助していくための会員組織。

協力会員は、保育に関する講習会(3日間)に参加します。

○援助できる内容

- * 保育園、幼稚園の開始前・終了後の預かり。
- * 保育園、幼稚園の送り迎え。
- * 学童保育終了後の預かり。
- * 乳幼児を連れて出かけにくい時(冠婚葬祭・病院・参観日)等の預かり。
- * 病気が治っても集団生活がまだ無理なような時などの預かり。
- * リフレッシュなど保護者が自分自身の時間を持つ際の預かり。
- * その他、資格取得や研修の時など、お子さんを持つすべての方が、援助を受けられます。

○有償ボランティア報酬金

- 午前7時～午後7時 700円/1h
- 午前7時前・午後7時以降 800円/1h
- 土・日曜・祝日 800円/1h
- その他 外出加算 100円有り

6 相談窓口における適切な対応について（ギャンブル依存症）

問ギャンブル依存症はWHOで定められている国際疾病「精神及び行動の障害（ICD-10）」に分類される。アルコール依存や薬物依存の問題と同じで、福祉、教育、医療、司法、債務問題への法的支援等、社会全体での連携した支援が必要であると、国際社会では広く認識されている。回復には、専門医による適切な治療、自助グループへの参加など、適切なプログラムを受けることが必要となるが、行政の相談窓口における対応について伺う。

答ギャンブル依存症は借金などの経済問題や自殺など、様々な問題につながることや、適切な支援と治療により回復が十分に可能な病気であることなど、庁内の相談窓口において共有化を図り、各課の職員が連携して対応していく体制を整えているところである。相談窓口の職員のスキルアップ研修や、相談事例に関する情報の共有化等を行い、適切に対応していく。

7 教育行政について（3項目）

問 特別支援教室「かがやきルーム」で、通常の学級に在籍する学習や生活上に困難を抱え特別な支援を必要とする子どもたちが、必要な時間のみ個別指導や小集団指導を受けている。学校規模に関わらず1クラスのため、学校の実情に応じて、かがやきルームのクラスと指導教員を増やす必要があるのでは。

答今後、かがやきルームの指導員に対し、効果的な研修の実施や、教育センター職員による訪問指導の充実を図り、指導力向上に務めると共に、現在1時間当たり3人までとしている、かがやきルームの利用人数など、運用の在り方について検討するなどしてかがやきルームを利用していく。

問 中学校は教科担任制だが、小学校はクラス担任制のため担任を持たない教員がおらず、困難を抱える児童生徒への対応や全ての子どもにとって好ましい教育環境の提供が十分とれない。小学校にフリーで動ける補助教員を配置することで、全ての児童生徒のその後の生育に大きく差が出るものと考えているが。

答本市独自に担任を持たない補助教員として、今年度、中核市トップレベルの市費非常勤嘱託員228名、臨時職員44名を配置するとともに、県費非常勤教育職員58名を配置している。これらの補助教員をかがやきルーム指導員や習熟度別学習指導助手などとして活用している。

問 教育センターの教育相談は、就学支援や発達障害、学業・学校生活・不登校、医学的相談、性格・行動・子育てについてなど、あらゆる相談に応じており評価しているが、近年、希望者が増加しており、2か月待ちも多いと聞く。多くの相談があるのであれば、何らかの対応を講じる必要があるものと考えているが。

答相談申込みから遅くも1カ月以内には面接を行っているが、近年、申込みが急増し、1カ月以上またせてしまう場合もある。緊急性が高い場合は相談員や臨床心理士に加え、指導主事も相談の対応にあたり、早期に面談を行えるよう努めていく。また、申込みが集中する時期は、職員体制を工夫し、相談時間を拡充するなどして、速やかな相談の実施に努めていく。

市議会HP → <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>

※海外視察に参加しました。報告会は、2月8日議員協議会室です。

（議員12名、2015年11月8日より15日までの8日間、3カ国5都市）

- (1) 居住魅力・文化観光都市//デュッセルドルフ・エッセン（ドイツ）
- (2) 自転車のまちづくり//コペンハーゲン（デンマーク）
- (3) LRTを中心とした総合的な交通政策//ストラズブル・ナンシー（フランス）



デュッセルドルフの市街地
車を規制してまちを人に開放



コペンハーゲン自転車専用道
自転車か車に合わず安心移動



フランスの交通権 自分の意志と
能力で遠慮せず自由に移動できる

※病児保育事業とは？

子育てと就労の両立を支援することを目的として、病気又は病気の回復期にあるため、集団や家庭での保育ができない期間、お子さんを一時的にお預かりする事業。

○済生会宇都宮病院病児保育施設
一日あたりの定員 12名

○医療法人 福田こどもクリニック
一日あたりの定員 4名

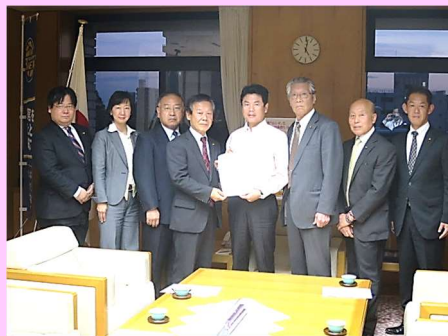
○ひばり保育園
一日あたりの定員 3名

○ゆうゆう保育園（病後児保育）
一日あたりの定員 2名

利用期間 原則として7日以内
利用料 1日につき2,500円（昼込）

また、平成27年7月より、ひとり親家庭の方が利用した際の利用料を補助する制度が始まりました。

【政策制度・予算化要望】



10/27 所属する市民連合会派より、市長へ、平成28年度の政策制度要求・予算化要望（重点10項目、全50項目）を提出しました。

【主な議会日程】

1月 4日 宇都宮市賀詞交歓会

6日 出初式議会

10日 成人式・西原地区どんと焼き

15日 健康長寿特別員会

20・21日 視察（柏市、松本市）

2月 8日 海外視察報告会（議会棟）

12日 予算大綱

12日 ちえ後援会新春の集い

19日 予算説明会

24日 3月定例議会開会

25日 各常任委員会補正予算

3月2～7日 一般質問

6日 記念講演会（鬼丸昌也氏）

8～11日 各常任委員会

10日 中学校卒業式

15日 市街地開発組合

17・18日 小学校卒業式

23日 閉会

ちえ後援会 2016 新春の集い

●日時 2016年 2月12日(金)

受付午後6時30分・開会7時



●場所 宇都宮グランドホテル

〒320-0826 宇都宮市西原町 142

☎028-635-2111

●会費 6,000円 (当日受付にて)

●お申込み・問合せ先 福田ちえ後援会

宇都宮市六道町 12-38

☎636-2582 FAX 636-2559

※準備の都合上、早めに出欠のご連絡をお願いします。

◎ご案内◎

宇都宮中央ライオンズクラブ

設立50周年記念講演会

講師 鬼丸昌也氏

(認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事・創設者)

「すべての人に未来をつくる力がある」

さらわれて強制的に… 飢えて自ら…

子どもたちは鉄砲を持つ

2016.3/6日

入場
無料

事前に申込みの上
当日入場整理券を
持参下さい。

【開 場】午後1時 【開 演】午後2時

【会 場】栃木県総合文化センター サブホール

栃木県宇都宮市本町1-8 TEL.028-643-1000

【お問い合わせ】宇都宮中央ライオンズクラブ事務所

栃木県宇都宮市築瀬町1785-24木戸ビル2F

TEL.028-637-4966

福田ちえ●PROFILE

1965 (S40) 3.16 生まれ O型 同居の家族：夫、娘3人、義母
宇都宮市立西原小学校～宇都宮市立一条中学校～栃木県立宇都宮工業高校～
日本工業大学システム工学科卒業 (1987.3)

●これまでの主な経歴

1987年 足利システムサービス(株) (足利銀行グループ) (～1993)

2001年 衆議院議員 水島広子秘書 (～2005)

2007年 宇都宮市議会議員 初当選

2014年 老人デイサービスセンターにしはら (～2015)

西原小学校 PTA 会長、一条中学校 PTA 副会長

宇都宮市 PTA 連合会 常任理事・同 教育課題特別委員会委員長

◎文教消防水道常任委員長 (2011.6～2012.6)

◎建設常任委員会委員長 (2012.6～2013.6)

●現在の主な役職

宇都宮市議会議員 当選3期 (2007、2011、2015)

一条中魅力ある学校づくり地域協議会/西原小魅力ある学校づくり地域協議会

西原宮っ子ステーション運営委員会会長

ちえリングと愉快的仲間たち代表

村田発條労働組合特別相談役/JAM組織内議員団

宇都宮中央ライオンズクラブ会長 (2015～2016)

新春の集い、今年も
ウェルカムミュージックを
ご用意しております。



お早目にいらして

素敵な音楽をお楽しみください。

運試し、抽選会もあります！

景品募集中(*^▽^*)

ものづくり産業JAM労働組合出身

藤川しんいち

さんを応援します。



<http://fujikawa-shinichi.com/>

労働組合を通じて、働く者の生活向上
をどうするかを日々、悩み考えてい
た。まじめに汗して働く仲間が報われ
る社会にしないとイケない！

ものづくり、ひとづくり、くにつくり

●4つの政策

労働政策 労働者保護ルール改悪防止

社会政策 社会保障・税の一体改革

産業政策 公正取引・技能継承

社会の仕組み 社会の変化に対応したシステム改革



◎3月6日に講演をいただく、
鬼丸昌也さん。

自分の中で「力」が湧いてくる
講演です。多くの皆さんのご
来場をお待ちしています。